

【防災メモ】

～津波フラッグは避難の合図～

●津波フラッグ

「津波フラッグ」は、大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。北海道内でも昨年7月のカムチャツカ半島東方沖の地震で津波警報等の発表時に活用されました。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



写真 津波フラッグ活用事例

令和7年7月30日のカムチャツカ半島東方沖の地震の際に大分県大分市の田ノ浦ビーチに掲げられた津波フラッグ



津波フラッグは、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。主に船舶間の通信に用いられ、

「貴船の進路に危険あり」を意味する国際信号旗である「U旗」と同様のデザインとしています。

※U旗は右図のように他の国際信号旗と組み合わせることで、別の意味になることがあります。

(例：U 旗とW 旗（同じく国際信号旗）を組み合わせると「安全な航行を祈る」の意味となります。)



●参考 URL（気象庁 WEB サイト）

津波フラッグの解説：

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

